

(2) ディベート班

中学生

①第9回全国中学生英語ディベート大会

- ・日時 令和元(2019)年9月22日(日)
- ・会場 中京大学(名古屋市)

論題 ‘Japanese elementary, junior high and high schools should withdraw from school club activities.’

- ・成果 総合第8位(参加チーム数21校)本校から1チーム(7名)が参加。
エクセレント・ディベーター賞:片柳賀那



名古屋市で毎年行われている英語ディベート大会は、例年中3生から有志を募り、1学期後半から活動始めて9月中旬の大会まで約2ヶ月間練習を積み、大会での上位入賞を目指してきた。今年度は過去最高の8位という結果に加え、個人の部でエクセレント・ディベーター賞入賞を果たすことができた。これは高校の先生の指導に加えて、昨年同大会に参加した現高1生たちが中学生の練習に加わるなどの協力を得たことが大きい。また大会後も中3生が高校英語ディベート部に早期入部して活動しており、英語学習への意欲付けやレベルアップにつながっていることは間違いない。実際に中学校時代に英語ディベートに取り組んだ経験が高校での好成績に現れており、今後も中高一貫校である本校としての強みを活かし、生徒の英語力向上を図っていきたい。

【第9回全国中学生英語ディベート大会参加生徒の感想】

<p>○私は英語があまり得意ではありませんでしたが、この活動を通して英語に触れる機会が増えたことで次第にすらすら話せるようになり、英語の長文も速く読めるようになりました。また相手の意見に対して冷静に考えられるようになったと感じています。</p>	<p>○日本語ディベートが好きで、英語ディベートに興味を持つようになりました。最初は全てが難しく心配でしたが、仲間と協力し、先生のご指導を受けて、試合当日は全力で臨むことができ、本当に楽しかったです。この経験を活かし、これからも頑張りたいです。</p>	<p>○英語ディベート部での活動を通して、自分の英語力が高まったことを実感しています。ディベートは「話す・聞く・書く」のどれもが大切で、練習を積みにつれて語彙力が身につきました。この経験で得たことは今後、自分のアドバンテージになると確信しています。</p>
<p>○英語ディベート部の活動に参加し、僕は多くのことを学びました。英語が好きになり、英語力だけでなく、仲間との活動を通して、内面的にも成長できたと実感しています。大会後は、高校の英語ディベート部に早期入部し、仲間と切磋琢磨して練習に励んでいます。</p>	<p>○英語ディベート部は私にとって大きな出会いでした。3ヶ月間の練習を通して、英語を使うことの難しさと同時に、言葉が伝わる喜びを知りました。またこの活動で、仲間との絆を深めたり、自分の視野を広げたりすることもできました。</p>	<p>○英語ディベートに参加し、英語で伝えることの難しさを改めて知りました。ディベートなので、自分だけでなく、相手に理解してもらえよう伝えることの大切さも学びました。また、自分の英語でのスピーキング力を伸ばす良い機会になったと思います。</p>

②日本語ディベート

2019年関東甲信越地区中学・高校ディベート選手権

(第24回全国中学・高校ディベート選手権関東甲信越地区予選)

令和元(2019)年6月16日(日) 女子聖学院中学校高等学校

7月14日(日) 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校

結果 総合7位(18チーム中)

第23回関東甲信越地区中学・高校秋季ディベート大会

令和元(2019)年11月23日(土・祝) 広尾学園中学校・高等学校

結果 総合7位(18チーム中)



日本語教室ディベートに参加するようになって3年目を迎えた。これまで大会での成果はほとんど出すことができずにいたが、生徒たちのディベートに対する意欲の向上と、これまでのディベート大会出場の蓄積の甲斐があって、少しずつ結果が出てきた。

しかし、ベスト8までは出せるようになってきたものの、ベスト4へのあと1勝を飾ることがなかなか難しく、その目標は、今年度果たすことができなかった。

本校のディベートは特設的な活動のため、原則週1回の活動となかなか思うように準備や練習試合等を実施することが難しい状況であるが、普段のCTPの授業で行っているディベート活動を土台として、チームワークを大切にしながら少しずつ力を付けてきた。来年度は今年度の実績を踏まえ、強豪校に対しても物怖じせず勝負ができるようにさらに発展させたい。

参加した生徒から

- ・これまで1勝するのがやっとであったが、少しずつ結果を出すことができてきた。コミュニケーション点なども大切に、さらに活動を活性化させたい。



高校生

- ①大会名 令和元年度栃木県英語ディベート春季大会
・日時 令和元(2019)年6月16日(日)
・会場 宇都宮東高校
・成果 **TCL(ビギナー)部門** 団体 準優勝、3位
個人 1位(1名)、2位(2名)、5位(1名)、
6位(1名)、10位(2名)



- ②大会名 令和元年度「初めての即興型英語ディベート講座」～SGH 英語ディベート講座
・日時 令和元(2019)年7月20日(土) 9:00～12:00
・会場 栃木県立佐野高等学校
・成果 佐野高校、足利高校、栃木女子高校、小山北桜高校、宇都宮中央女子高校から約30名の参加があった。基礎レクチャーの後、全体で基礎練習、ゲーム練習を行い、大いに盛り上がりを見せた。

- ③大会名 令和元年度佐野高校 SGH 杯南部地区英語ディベート大会
・日時 令和元(2019)年8月4日(土) 9:00～16:30
・会場 栃木県立佐野高等学校
・成果 団体 優勝、準優勝
個人 1位(1名)、3位(1名)、5位(3名)、10位(2名)



集合写真



開会式の様子

- ④大会名 PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2019
・日時 令和元(2019)年8月7日(水)、8日(木)
・会場 ホテルフクラシア大阪ベイ
・成果 課外授業の部(初心者) 団体 優勝
個人 ベストディベーター賞(2名)
ベスト POI 賞(2名)



地区予選のない全国大会ではあるが、全国優勝を果たしたのはディベート部史上初の快挙！

- ⑤大会名 第7回全国高校穎悟ディベート大会サマーカップ2019
 - ・日時 令和元(2019)年9月22日(日)
 - ・会場 埼玉県立伊奈学園総合高等学校
 - ・成果 26チーム中18位

- ⑥大会名 第11回D-1英語ディベート選手権大会
兼第14回全国高校生英語ディベート大会栃木県予選大会
 - ・日時 令和元(2019)年11月4日(月)
 - ・会場 栃木県立宇都宮高等学校
 - ・成果 Aリーグ 学校別 5位
Bリーグ チーム別 5位

- ⑦大会名 第5回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会
 - ・日時 令和元(2019)年12月21日(土)22日(日)
 - ・会場 東京大学
 - ・成果 64チーム中45位

- ⑧大会名 第9回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯栃木県大会
 - ・日時 令和2(2020)年1月26日(日)
 - ・会場 宇都宮東高校
 - ・成果 団体 5位